安全データシート(表紙)

製品及び会社情報

カタログ番号	DY40312700
製品名	熱伝導ペースト シリンジ 1g ROHS
販売会社	株式会社メディコン
住所	大阪府大阪市北区曽根崎新地 1-13-22
連絡先	www.bdj.co.jp/s/cs/(カスタマーサービス)
推奨用途	グリース・オイルコンパウンド 放熱用
使用上の制限	一般工業用

本製品に関するその他の情報については、次ページ以降の安全データシートをご参照ください。
https://www.silicone.jp/sdstds/searchSdsTdsList.do

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称　X-23-7762

供給者の会社名称，住所及び電話番号

供給元

会社名	信越化学工業株式会社 シリコーン事業本部
住所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-1
電話番号	03-6812-2400
ファックス番号	03-6812-2412
SDS作成部門	群馬事業所　品質保証部
電話番号	027-385-2172
緊急連絡先	027-385-2172(休日・夜間:027-385-2111)
メールアドレス	msds_s@shinetsu.jp

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	グリース・オイルコンパウンド 放熱用
使用上の制限	一般工業用

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

危険有害性の分類に該当するという情報はありません。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　混合物
(シリコーン混和物)

		官報公示整理番号		
化学名又は一般名	CAS番号	化審法	安衛法	含有量 (%)
オルガノシラン変性アルミニウム	非公開	非公開	非公開	70 - 80
酸化亜鉛	1314-13-2	(1)-561	(1)-561	20 - 30
合成パラフィン	68551-20-2	(2)-10	(2)-10	1 - 3

化審法；全成分登録済保証。

4. 応急措置

吸入した場合	該当せず。
皮膚に付着した場合	皮膚を石鹸と水で洗うこと。 刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受けること。
眼に入った場合	直ちに多量の水で15分以上洗浄すること。 刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 直ちに医師の手当てを受けること。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて処置すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧。 泡消火剤。 粉末消火剤。 二酸化炭素（CO2）。
使ってはならない消火剤	知見なし。
火災時の特有の危険有害性	加熱および火災により有害な蒸気／ガスが生成されることがある。
特有の消火方法	もし危険を冒さずにできる場合は、火災区域から容器を移動させる。 火災の場合は、散水により容器を冷却する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消防士は、防火衣、ヘルメット、手袋、ゴムブーツを含む標準的な防護衣、自給式呼吸器（SCBA）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置	適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	安全を確認してから、流出防止の措置をとる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材	全ての着火源を取り除く。 漏出物を回収すること。 布等の吸収材で拭き取る。 残った汚染を除去する為に床をよく清掃すること。 元の容器に回収して再使用することは絶対に避けること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）	適切な換気を行う。
安全取扱い注意事項	取扱い/保管は慎重に行うこと。
接触回避	『10.安定性及び反応性』を参照。
安全な衛生対策	休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。 適切な産業衛生および安全対策のもとに取扱う。

保管

安全な保管条件	容器を密閉しておくこと。 直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。
安全な容器包装材料	元の容器で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

暴露限界値

作業環境評価基準(昭和６３年９月１日号外、労働省告示第７９号) 別表

成分	タイプ	数値	形状
酸化亜鉛 (CAS 1314-13-2)	管理濃度	0.025 mg/m3	粉塵

日本産業衛生学会－許容濃度

成分	タイプ	数値	形状
酸化亜鉛 (CAS 1314-13-2)	TWA	4 mg/m3	総粉塵
		1 mg/m3	吸入性粉塵
		0.5 mg/m3	

米国. ACGIH作業環境許容濃度 (TLV)

成分	タイプ	数値	形状
酸化亜鉛 (CAS 1314-13-2)	STEL	10 mg/m3	吸入性粒子
	TWA	2 mg/m3	吸入性粒子

暴露ガイドライン	OELは製品の現在の物理的性状とは関係ない。
設備対策	洗眼設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具	通常、呼吸用保護具は必要ない。
手の保護具	保護手袋を着用すること。
眼，顔面の保護具	側板付安全眼鏡（またはゴーグル）を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	特別の保護具は必要ない。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体。
形状	グリース
色	灰色
臭い	微臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	該当せず
可燃性	高温で発火の可能性あり
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	
爆発限界－下限(%)	データなし
爆発限界－上限(%)	データなし
引火点	> 100 ° C (> 212 ° F) (密閉式)
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	測定不可（水溶解性を参照すること）
動粘性率又は粘度	該当せず
溶解度（水）	不溶
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	該当せず
蒸気圧	微(25℃)
密度及び／又は相対密度	2.4 (25 ℃)

蒸気密度又は相対ガス密度	該当せず
蒸発速度	微（酢酸ブチル=1.0）
粒子特性	データなし
その他の情報	
分子量	該当せず

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の使用、保管、輸送条件下で起こる既知の危険な反応はない。
化学的安定性	通常の条件では安定。
危険有害反応可能性	危険な重合は起こらない。
避けるべき条件	特になし。
混触危険物質	強酸化剤。
危険有害性分解生成物	加熱又は燃焼により下記の分解生成物を発生する可能性がある。 一酸化炭素，二酸化炭素等の酸化炭素類、不完全燃焼により生成する微量の炭素化合物。 二酸化珪素。 ホルムアルデヒド。

11. 有害性情報

急性毒性

成分	種	試験結果
酸化亜鉛 (CAS 1314-13-2)		
急性		
吸入		
LC50	マウス	> 5.7 mg/l, 4 hr
経口		
LD50	マウス	7950 mg/kg
	ラット	> 5 g/kg

皮膚腐食性／刺激性	皮膚刺激。［合成パラフィン］
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データなし。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし。
生殖細胞変異原性	データなし。
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データなし。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データなし。
誤えん有害性	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。［合成パラフィン］
その他の情報	本製品は、空気雰囲気下において150℃以上で加熱した場合、微量のホルムアルデヒドを徐々に生成致します。ホルムアルデヒドは皮膚、呼吸器系への感作性、目への刺激性及び発がん性の危険性が報告されております。従いまして、空気雰囲気下150℃以上で加熱するような条件下でご使用の際は、換気を十分行って下さい。尚、換気が十分でない場合は有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用して下さい。

12. 環境影響情報

環境影響データ

成分		種	試験結果
酸化亜鉛 (CAS 1314-13-2)			
水生			
甲殻類	LC50	オオミジンコ	0.122 mg/l, 48 時間

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし
他の有害影響	酸化亜鉛は本製品に練り込まれた状態において、水生環境に悪影響を与えないことを確認しております。

13. 廃棄上の注意

地域の廃棄規制　焼却処理。その際、シリカの微粉が生成致しますので適切な設備での焼却をお願い致します。また、必要に応じて防塵マスク等の保護具の着用をお願い致します。 廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。 内容物／容器を地域／地方／国／国際規則に従って処理すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

IATA

危険物には該当しない。

IMDG

危険物には該当しない。

MARPOL73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質　本製品は、ばら積み輸送用ではありません。

国内規制　国内輸送については１５章の規制に従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法

特化則

第一類物質

該当せず

第二類物質

該当せず

第三類物質

該当せず

有機則

第一種有機溶剤

該当せず

第二種有機溶剤

該当せず

第三種有機溶剤

該当せず

通知対象物質（SDS交付及びリスクアセスメント対象物質）

酸化亜鉛　20 - 30 %

表示対象物質

酸化亜鉛

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず

毒物

該当せず

劇物

該当せず

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず

第二種特定化学物質

該当せず

監視化学物質

該当せず

優先評価化学物質

該当せず

2023年4月1日以降の化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、管理番号、含有量)

該当せず

第一種指定化学物質(物質名、管理番号、含有量)

該当せず

第二種指定化学物質(物質名、管理番号、含有量)

該当せず

消防法　指定可燃物（合成樹脂類 －その他のもの）

船舶安全法・危規則　該当せず

航空法・施行規則　該当せず

火薬類取締法　該当せず

高圧ガス保安法　該当せず

海洋汚染防止法　該当せず

16. その他の情報

引用文献

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank
IARC発がん性評価モノグラフ
National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens
ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices
日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告
JIS Z 7252：2019 GHS に基づく化学品の分類方法
JIS Z 7253：2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
日本化学工業協会　GHS対応ガイドライン、2019年6月

この安全データシートは、日本工業規格JIS Z 7253:2019に沿って作成致しました。 本記載内容は代表値であり、規格、および保証値を示すものではありません。また、推奨される産業衛生措置および安全な取扱い方法は、通常の取扱いにおいて適用した方が良いと思われる内容を記載しておりますので具体的な用途や取扱い条件に照らして、推奨事項が適切かどうかご検討の上ご判断頂くようお願い致します。
本品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療用その他特殊な用途へのご使用に際しては貴社にて事前にテストを行ない、当該用途に使用する事の安全性をご確認の上ご使用ください。医療用インプラント用には絶対に使用しないでください。

版番号　07
改訂日　2025/09/24